

# 学校生活の充実度が高いと 成績は低いのか

報告者：亀田：園山：西野：藤谷

# 初めに

大学生生活も終盤に差し掛かり、単位を取りながら残りの大学生生活を充実させたい！

しかし、サークル活動やアルバイト、友人関係、趣味に力を入れ、大学生生活に対して充実度が高いと感じている人は成績に悪影響を与えていないのか？

# 仮説

- 大学生活が充実している人は勉強よりも優先するものが多いため、大学生活が充実していない人よりも成績が低いのではないのか。
- 大学生活の優先度で成績は変わるのか  
(バイト、勉強、サークル、 etc.)

# 比較による予想

## 大学生活が充実している

- 趣味やバイトで勉強に身が入らない。
- 友達が多く授業に出ない可能性。

## 大学生活が充実していない

- 授業中心の生活となり、学習に積極的。
- 数人でやるより勉強に身が入る。

# 反対に

- 友達が多い方が試験の過去問やデータ、授業内容の教え合いでテストで良い成績を取りやすくなるのでは。
- 充実していない方が学校に行く気がなくなるのでは。
  
- それらを踏まえデータ分析を行う

# データ

- 大学生のキャリア意識調査(2019)を使用
- 調査地域:全国
- 調査対象:4年制大学、医系・薬系6年制大学に通う1年生・3年生
- サンプルサイズ:大学1年生:1031人(男子:563人女子:468人)  
大学3年生:1031人(男子:563人女子:468人)  
(※1)

# 記述統計

	平均値	標準偏差	最小値	最大値	有効ケース数
大学生生活の充実度	3.83	1.03	1	5	1924
成績	3.71	1.14	1	5	1924
勉強意欲	3.00	0.75	1	5	1924
女性ダミー	0.46	0.50	0	1	1924
勉強や研究を第一においた生活	0.23	0.42	0	1	1924
サークル・同好会の活動を第一においた生活	0.10	0.31	0	1	1924
自分の趣味を第一においた生活	0.16	0.36	0	1	1924

	平均値	標準偏差	最小値	最大値	有効ケース数
人間関係を第一においた生活	0.13	0.34	0	1	1924
就職のための資格取得を第一においた生活	0.08	0.28	0	1	1924
アルバイトやお金を貯めることを第一においた生活	0.08	0.28	0	1	1924
ほどほどに組み合わせた生活	0.16	0.37	0	1	1924
なんとなく過ぎていく生活	0.05	0.22	0	1	1924

# 大学生が何に重点を置いているのか

生活の重点	割合
勉強や研究	22.3%
サークル・同好会の活動	10.1%
自分の趣味	15.2%
友人を得たり人間関係を結ぶこと	13.0%
将来就きたい仕事や就職のための資格習得	8.2%
アルバイトやお金を貯めること	8.1%
ほどほどに組み合わせる	15.9%
なんとなく過ぎていく生活	5.7%
その他	1.5%

さらに以上に重点を置いた生徒がどれくらい充実していると答えたかを分析する

生活の重点	充実度(平均値)
勉強や研究	4.07
サークル・同好会	4.26
趣味	3.76
人間関係	4.17
就職のための資格取得	3.75
アルバイト	3.47
ほどほどに組み合わせた生活	3.75
なんとなく過ぎていく生活	2.40

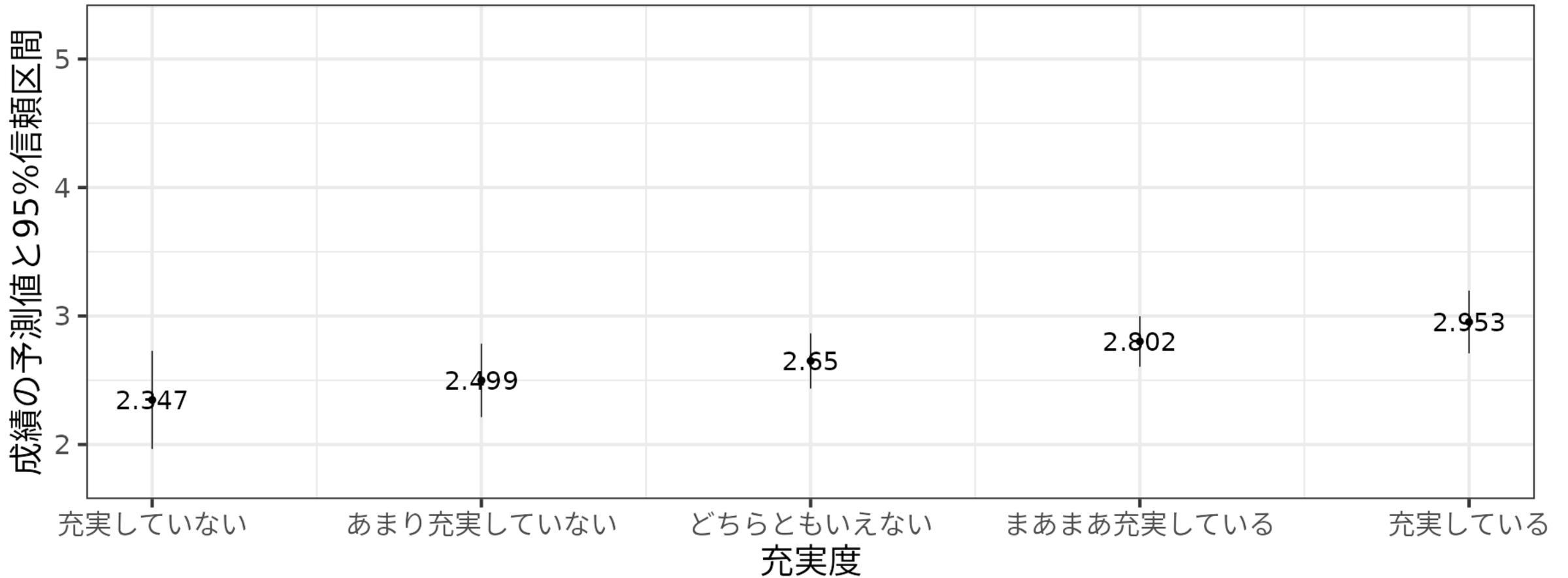
# 分析方法

- 応答変数:成績(1~5)
- 説明変数:大学生活の充実度(1~5), 勉強意欲(1~5)
- 統制変数:性別, 大学生活における重点
- 線形回帰分析

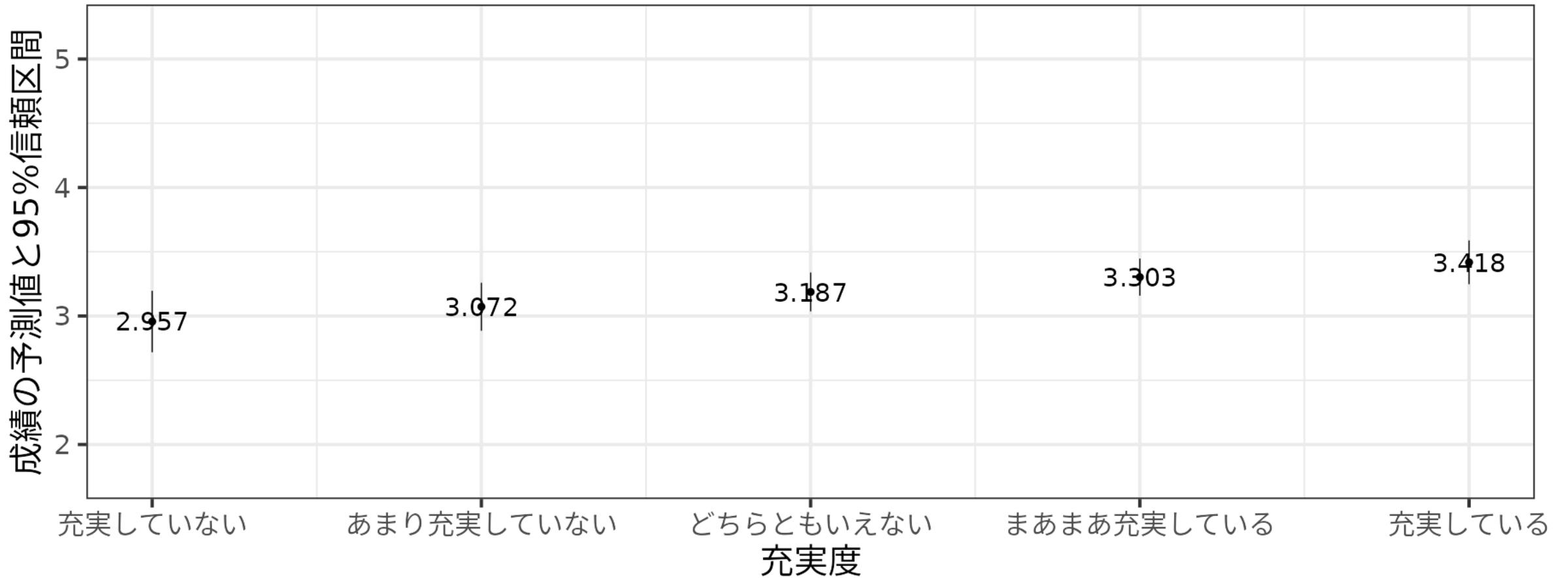
# 推定結果

	係数(p値)
切片	1.618(<0.001)
大学生生活の充実度	0.184(0.038)
勉強意欲	0.602(<0.001)
女性ダミー	0.155(0.003)
サークル・同好会	-0.166(0.102)
趣味	-0.057(0.489)
人間関係	-0.222(0.011)
就職のための資格取得	-0.197(0.014)
アルバイト・貯金	-0.253(0.016)
ほどほどに組み合わせた人生	-0.197(0.014)
なんとなく過ぎていく生活	-0.256(0.047)
充実度×勉強意欲	-0.036(0.214)
Num.Obs.	1924
R2 Adj	0.165

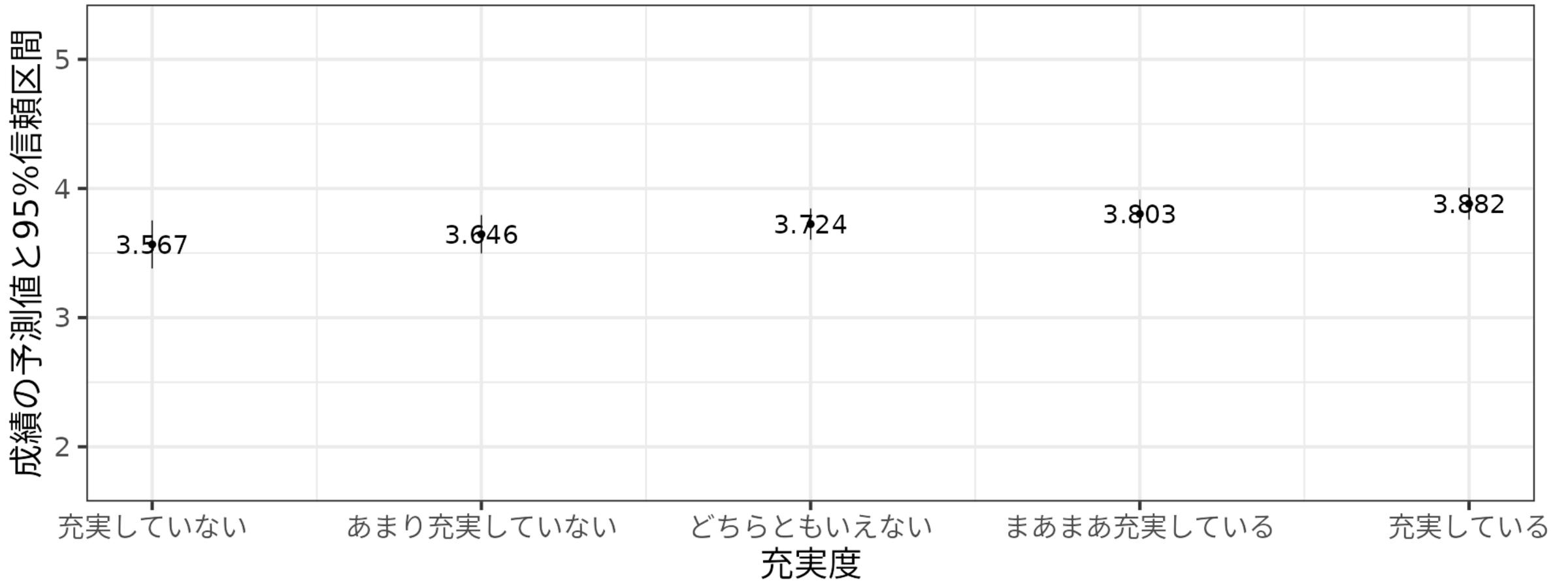
# 勉強意欲：1



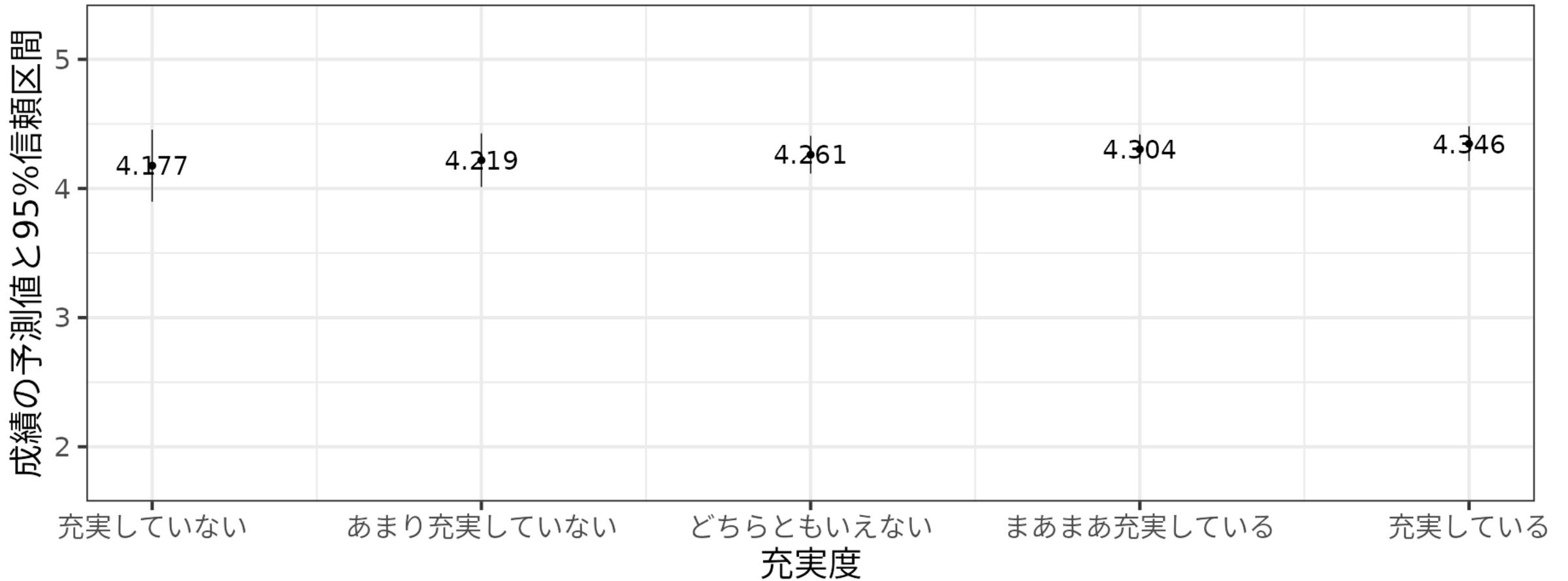
# 勉強意欲：2



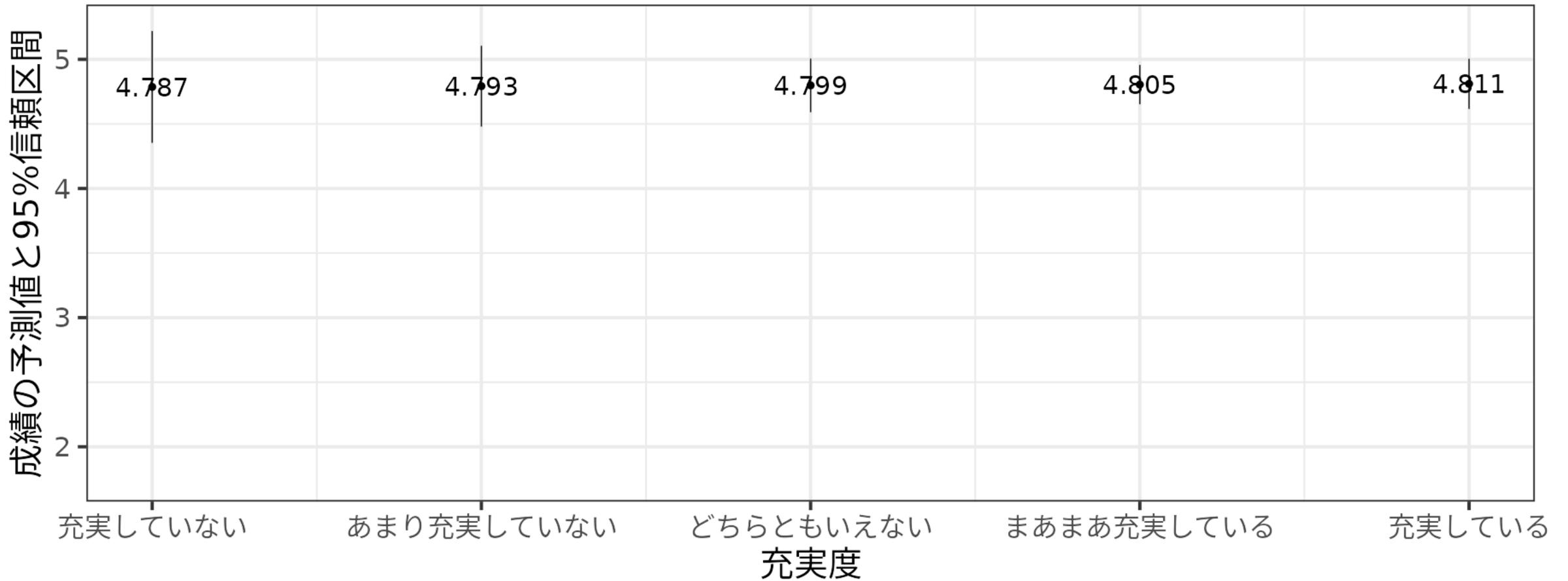
# 勉強意欲：3



# 勉強意欲：4



# 勉強意欲：5



# 充実度ごとの 生活の重点の割合

	1	2	3	4	5
勉強や研究	11%	13%	18%	24%	28%
サークル・同好会	3%	4%	8%	9%	18%
趣味	10%	15%	22%	17%	12%
人間関係	3%	6%	9%	14%	18%
就職のための資格取得	3%	12%	11%	8%	7%
アルバイト	14%	15%	10%	8%	5%
ほどほどに組み合わせた生活	11%	21%	15%	18%	11%
なんとなく過ぎていく生活	45%	14%	7%	2%	1%

# 結果

- 充実度が高い人は研究や勉強に専念している人が多く、充実している人の方がより成績のいい人の割合は多い。  
→ 充実度が高い人ほど友人が多い可能性が高く課題やテストに関して情報が多く手に入る。
- 勉強意欲が同じ場合、充実している人の方が成績が良くなる傾向にある。  
→ しかし、この関係は勉強意欲が低いほど影響が大きく、勉強意欲が高い場合はほとんど関係がみられない。

# 改善点

- 今回のサンプルが大学一年生と三年生のみであった。  
→ 充実の要因が異なる可能性
- 充実度の高い人の中で勉強や研究に専念する人の割合が多かったため、サークルや人間関係に力を入れて、充実していたとしても、成績に良い影響を与えないと言いきれない。

# 参考文献

(※1)

- 調査名 大学生のキャリア意識調査、(2019)
- 寄託者 電通育英会